

第14回全国書写書道総合大会

指定課題・解説

課題・応募数



行動制限もなくなり、日常が戻りました。社会活動も活発です。書写書道団体も個人も、大会への積極的な参加をお待ちします。

まずはトライしていただくことが大切です。教場の指導者の負担を減らすためにも、これまでに手がけていただいた過去問の中から指定課題を選びました。

総合大会は「ひらがな・かきかたコンクール」「全国学生書写書道展」「全国硬筆コンクール」で構成。課題は指定されます。学生展には席書と公募の部がありますが、両部とも共通の指定課題です。

応募数は1人1点ですが、学生展公募の部では、同じ課題でも用紙の大きさ（半紙、八ツ切、半切、地域指定用紙）が違えば1人3点まで応募できます。地域指定用紙とは、都道府県の大会などで独自に使用されている用紙のことです。この地域指定用紙での出品も可能です。※最大は半切まで。硬筆コンクールでは書体が違えば中学生は2点、高校生以上は3点応募できます。（その他実施要項ご参照）

<仮名遣い>

句読点は原文通りでない場合があります。詩歌、漢文以外でも句読点を省く場合があります。

ひらがな難易度表、評価の観点表を大事に

「ひらがな難易度表」、「評価の観点表」に注目することを大事な目的にしました。この2つの表は、書文協が考案した自信作です。

ひらがなは、漢字の草書体を字源として日本が生み出した文字で、漢字かな交じりの日本語の6割以上を占めている、と言われます。その書き方の難しさはそれぞれに違います。ひらがなを順次覚えていくチャートとして作られたのが「ひらがな難易度表」です。

ひらがな難易度順一覧										
レベル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
A	こ	り	つ	し	く	へ	い	と	て	ろ
B	11 う	12 そ	13 に	14 ち	15 ら	16 の	17 さ	18 け	19 た	20 せ
	21 よ	22 や	23 ん	24 ひ	25 お	26 え				
C	27 す	28 る	29 か	30 き	31 み	32 は	33 も	34 ま	35 ふ	36 ゆ
	37 め	38 わ	39 ほ	40 れ	41 ね	42 な	43 を	44 ぬ	45 あ	46 む

一般社団法人日本書字文化協会

一般社団法人日本書字文化協会

「評価の観点表」は、止め・はね・払いなど、覚えて欲しい書写書道のルールを 50 の項目にまとめたものです。検定やコンクールで出されてきた作品を、この評価の観点に照らして審査します。この指定課題の評価の観点は公開されます。ともすれば書写書道作品の審査過程は明らかにされないブラックボックスとされてきました。単に「上手い、下手」の漠然とした評価でなく、評価されたポイントを知ることによって書写書道は学びの道筋を得ます。

書写書道硬筆課題検定(新硬筆検定)	
年 月 課題 番	
認定級位	10級 (はじめてのえんぴつNo.1~4)
	9級 (はじめてのえんぴつNo.5~6)
	8級 (はじめてのえんぴつNo.7~10)
	7級 (えんぴつ・ペン文字練習帳 1 課題No.1~8)
	6級 (えんぴつ・ペン文字練習帳 2 課題No.9~16)
	5級 (えんぴつ・ペン文字練習帳 3 課題No.17~24)
	4級 (えんぴつ・ペン文字練習帳 4 課題No.25~32)
	3級 (えんぴつ・ペン文字練習帳 5 課題No.33~40)
	2級 (えんぴつ・ペン文字練習帳 6 課題No.41~44)
	1級 (えんぴつ・ペン文字練習帳 6 課題No.45~48)
評価の観点 (番号と内容)	30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
評価の観点 (番号と内容)	止める 払う はねる 長さ 方向 折れ あきと広い 折れ 折り返し 曲がり 接し方 交わり方 筆順 描画・線 点 そり 描点・筆点及び始点・終点の小さな文字 外形 中心 画と画の間・等間隔など 句読点・かぎ 組み立て方 漢字と仮名の大きさ 筆順と字形 書く速さ 用紙と文字の大きさ 点画のつながり 配置・配列 3つの部分の組み立て方
合格	チェック

一般社団法人日本書字文化協会

表記上の注意

- ◎ 漢字は学習指導要領の学年別漢字配当に従い、年度前半大会であることから前学年までの漢字使用を原則としています。
- ◎ 漢字・仮名遣い、句読点は原文通りでない場合があります。詩歌、漢文以外でも句読点を省く場合があります。
- ◎ 用紙の大きさ、氏名の書き方などは、大会実施要項の出品料等をまとめた出品規定表にあります。ご参照ください。

参考手本、評価の観点はホームページで発表

コンクールの参考手本はホームページで発表されます。評価の観点もホームページ上で発表されます。

手本通りに書かなくてはいけないということではありません。流派を超えた審査が書文協の理念です。止め、はね、払いや点画など、身に付けなくてはいけないルール、技術をしっかりと手本から読み取ってください。指定された大きさの用紙に書く際の文字の配置、配列も手本を参考にしてください。技法、ルールのポイントを指定課題文言にそってまとめた「評価の観点」も参考にしてください。

書文協ホームページに掲載された手本をダウンロードして使用するのは自由です。参考手本は発売もされます。

幼稚園・保育園・学校単位での応募は、応募者 1 人につき参考手本と清書用紙 2 枚を無料配布いたします。送料はご負担ください。

第 14 回総合大会指定課題

おおきなテーマとして「自然」というイメージで、課題を設定しました。指導者の負担軽減のため、今回も課題は、過去の大会に出題されたものの中から選びました。句読点や改行は、実際の手本を参考にしてください。

＜ひらがな・かきかたコンクール＞

- | | |
|--------|-----------------------|
| ◆年少・年中 | つり |
| ◆年長 | りんご |
| ◆小1 | にじのいろ |
| ◆小2 | あじさいのいろが、きれいです。 |
| ◆小3 | あおばのきせつ。きもちよいかぜがふきます。 |



＜全国学生書写書道展＞

- | | |
|------------|---|
| ◆年少・年中 | こ |
| ◆年長 | うり |
| ◆小1 | だいち |
| ◆小2 | そよかぜ |
| ◆小3 | あまの川 |
| ◆小4 | 生け花 |
| ◆小5 | 里山の秋 |
| ◆小6 | 海と自然 |
| ◆中1（楷書・行書） | 紅葉狩り |
| ◆中2（行書） | 古都の晩秋 |
| ◆中3（行書） | 輝く大海原 |
| ◆高校・漢字 | 山青花欲然（杜甫） |
| ◆高校・かな | 柿食えば 鐘が鳴るなり 法隆寺 （正岡子規） |
| ◆大学・漢字 | 花間宿鳥振朝露 柳外帰牛帶夕陽 （夏目漱石） |
| ◆大学・かな | 人の世は めでたし朝の日をうけて
すきとほる葉の 青きかがやき（佐々木信綱） |



＜全国硬筆コンクール＞

◆年少・年中 さくら

◆年長 あじさい

◆小1 うんどこしょ おおきなかぶ ひきぬいた

◆小2 だいこくさまにたすけられた白うさぎ

◆小3 しずかさや岩にしみ入るせみの声

◆小4 楽しいことは、心の中に全部ためて、大切にします。

◆小5 門松のたち初めしより夜の雨
暑き日を海に入れたり最上川

◆小6 「道」のつくものいくつある。
書写書道に武道に茶道、
どれも歩けば長い道。
心と足どり確かめつつ、
旅立とう、精神の高みへ

◆中学 これからの時代は、異なる文化や生活の中で生きる人々が、
たがいに理解し尊重し合って、共存できるような世界に
していくことが大切です。

◆高大一 星影やさしく 瞬く美空
仰ぎてさまよい 木陰を行けば
葉うらのそよぎは 思い出誘いて
澄みゆく心にしのぼる昔
ああ なつかしその日

